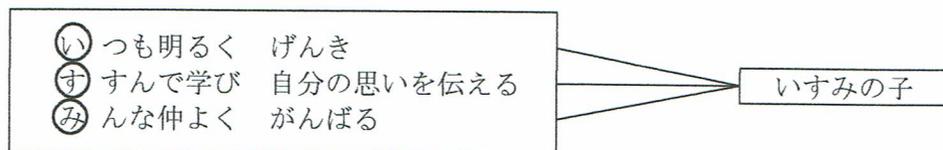


1 学校教育目標

「生きる力」を身につけた、心豊かなたくましい児童生徒の育成を図る。
 〈めざす児童生徒像〉



2 中学部の目標

(1) 学部目標

- ・日常生活につながる知識・技能・態度を育成し、自立して主体的に生きる力を養う。
- ・自ら学び、自ら考え判断し、進んで思いを伝えようとする力を育てる。
- ・心身ともに健康で充実した生活ができるように、体力の向上・保持増進を図る。
- ・集団生活を通して、望ましい対人関係や社会生活に必要な能力・態度及び習慣を育てる。

(2) 指導の重点目標

- ・小学部で培われた基本的生活習慣をさらに向上させるとともに生徒一人一人の個性を生かし、自ら考え判断し、主体的に取り組む力を育てる。
- ・生徒一人一人に応じた表現手段の獲得に努め、人とかかわりながら生き生きと自信をもって活動する力を育てる。
- ・心の安定を図り自ら行動を調整し、健康で体力のある身体づくりを目指す。
- ・集団生活を通して礼儀や社会生活に関することながらを指導し、マナーや人を思いやる心を育てる。

3 指導の重点

各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間(各教科等を合わせた指導等を含む)

指 導 形 態		指 導 の 重 点
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・生活の流れに沿って実際的な状況の下で、衣服の着脱、身だしなみ、排泄、食事、清潔などの基本的生活習慣の内容や挨拶、決まりを守ることなど集団生活をする上で必要な内容を取り上げ、個の能力に合わせて適切に指導し、望ましい生活習慣の形成を図る。
	生活単元学習	・社会生活に必要なさまざまな事柄を生徒の興味・関心に基づいた具体的な活動を通して学び、社会生活に必要な知識や態度、および、主体的に活動する力を育てる。
	作業学習	・作業学習に参加する喜びや完成の達成感を味わうとともに、望ましい作業態度を身につけ、働く力や生活する力を養う。
教科別の指導	国 語	・日常生活に必要な聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの能力向上及び自分の気持ちを表現する力を培う。
	数 学	・日常生活に必要な数量の処理・金銭・時計等に関する力を高めるとともに、それらを生活の中で活用する力を育てる。 ・具体物の操作を通して、形、色、大きさ、数量などの理解を深める。
	英 語	・挨拶や物の名前や色など生活の中で見聞きする身近な英語を取り上げ、英語への興味・関心を育てる。 ・挨拶や天気や物の名前などの単語の意味を理解し、それを活用して話そうとする力を養う。

教科別の指導	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の鑑賞や、表現を通して音楽についての興味・関心を育てる。 ・いろいろな歌や楽器への興味関心を育て、歌唱や演奏する力を養う。
	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな軽スポーツを通して、健康の保持増進と体力の向上を図る。 ・簡単なルールを守り、仲間とともに運動する楽しさを育てる。 ・自分の身体の発達や発育への関心を育て、進んで健康で安全な生活を送る力を養う。

領域別の指導	道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を通して経験的に社会生活に必要な約束や決まりを守り、最後までやり抜く力を育てる。 ・自分の良さについて考える力を養い、家族や友達への感謝や思いやりの心を育てる。 ・場面に応じた言葉遣いや相手に応じた接し方を指導し、社会生活へつなげる。
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の中で役割を担い、責任をもって果たす力を育てる。 ・集団の一員としての自覚を高め、仲間意識を育てる。 ・卒業後の進路についての関心を育て、生徒の能力に応じて適切に指導する。 ・生徒の興味・関心を広げ、卒業後の余暇活動につなげる。
	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の実態を把握し、個々にあった指導計画を作成し適切な指導をする。 ・日常生活に必要な基本動作と姿勢保持、運動・動作の習得・改善を図る。 ・障害に基づく生活上や学習上の困難を主体的に改善・克服するための支援をし、心身の調和的発達を育てる。 ・人とのコミュニケーションの中で、相手を意識し自分の気持ちや意思を伝達する力を育てる。 ・他者とのかかわりの中で自分への気づきを促し、自分で行動を調整し主体的に活動する力を養う。
総合的な学習の時間		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心や心身の発達など実態に応じて体験的活動や問題解決的活動に心がけ、生徒が自ら考え意欲的に活動できる力を育てる。

4 その他の事項（学校教育全体を通じて取り組む指導）

(1) 基本的な生活習慣

- ・小学部で培われた基本的な生活習慣をさらに向上させるとともに、身辺自立を目指した指導を重点的に行う。
- ・一日の生活の中で、繰り返し行うことにより、自立的に取り組む力を育てる。



(2) 生徒指導

- ・生徒一人一人の人格を尊重し、個性を生かしながら、社会の一員として生きていくための資質や行動力を高めるように支援する。
- ・生徒相互の望ましい人間関係や生徒と教師との信頼関係を築き、生徒が安心して活動できるように配慮する。
- ・思春期における身体の成長に伴う心理面への自己調整力を育てる。
- ・家庭における望ましい生活習慣の形成を援助する。



(3) 進路指導

- ・キャリア教育の視点を持ち、教育活動全体を通して、心身の状態及び能力、適性の把握に努め、可能な限り社会自立することを目指した指導の充実に努める。
- ・生徒の自らの生き方や職業観・勤労観を養い、将来の進路について関心を育てる。

